

津和野城 モデルコース

- 中国自然歩道モデルコース (車道区間)
- 中国自然歩道モデルコース (歩道区間)
- その他の中国自然歩道 (車道区間)
- その他の中国自然歩道 (歩道区間)
- その他のトレッキングコース

- 駐車場
- トイレ
- 案内看板
- 指路標



津和野城跡
鎌倉時代に吉見頼行公が30年かけて築城したもので三本松城とも呼ばれている。今では石垣や石畳が残るのみであるが、そのスケールの大きさに圧倒される。頂上に登れば正面に秀峰青野山、眼下に津和野の町並みが広がり、さらにSLが走る様はまるでミニチュアの世界。



鷺原八幡宮
鎌倉時代、城の守護神として城山の南西麓に創建された八幡宮。鎌倉の鶴岡八幡宮のものを模したという流鏝馬(やぶさめ)馬場が当時の原型をとどめている。これは流鏝馬の馬場としては日本で唯一現存するものとされ、周辺は鷺原公園として桜の名所としても知られているところ。



鷺原八幡宮入口 津和野城への歩道入口



鷺原の大杉
鷺原八幡宮の裏山にある大杉。樹齢600年で高さ40m、周囲8.7m。



道の駅津和野温泉なごみの里
水辺空間に囲まれた津和野の道の駅。天然ラドン温泉、レストラン、体験工房など、魅力がいっぱい。



弥栄神社
7月の祇園祭の神事として奉納される「鷺舞」の舞台である由緒ある神社。もとは京都祇園会の風流であったもので、大内氏によって山口に伝えられた。これを、天文11年(1542)津和野の吉見氏がこの地に招来したことに始まる。二羽の鷺に扮し優雅に舞う舞は国指定重要無形民俗文化財に指定されている。



津和野町役場方面から太鼓谷稲成神社への参道入口



太鼓谷稲成神社
日本五大稲荷の一つ、日本で唯一稲成と表記され、願望成就の願いが込められ、参道に連なる朱の鳥居が壮麗。



太鼓谷稲成神社駐車場から津和野城跡へ通じる歩道入口



津和野城跡からの眺望 津和野城跡石垣

青野山 モデルコース



青野山
約10万年前に噴出した標高908mの火山で、溶岩円頂丘の形状が極めて明瞭。頂上からは、津和野の町並みを眼下に望み、霧の立つ日には白雲に浮かぶ津和野城跡の景色が秀逸。晴れた日には遠く日本海も望まれ、格好のハイキングコースとして親しまれている。



1 歩道(六地藏)と町道青野山線分岐点



2 県道226号から青野山登山道(笹山登山口)分岐
鳥居が自印で林道から青野山登山道へ通じる。林道を進めば、青野河原駐車場へ通じる。



3 青野山登山道(笹山登山口)入口



4 青野山からの眺望
津和野城跡を眼下に望み、津和野の町並みも一望できる。



5 青野山登山口(青野河原ルート入口)



6 青野河原駐車場
青野山登山の起点となる駐車場。乗用車30台程度駐車可能であり、トイレも完備されている。



7 町道青野山線と青野河原駐車場への分岐



8 天神山入口

鷺原八幡宮	約1.2km 約40分	津和野城跡	約1.1km 約40分	太鼓谷稲成神社	約0.2km 約5分	弥栄神社	約0.6km 約15分	国道9号	約0.7km 約15分	約1.1km 約20分	笹山登山口	約1.3km 約40分	青野山山頂	約1.4km 約40分	青野河原登山口	約0.4km 約10分
標高180m		360m		210m		220m		標高220m		420m		440m		908m		410m